

様式 5

平成 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 31 年 3 月 15 日

学 長 殿

所属部局・職名 行政政策学類・准教授

申 請 者 名 黒崎輝

| | |
|------------------------|--|
| 助成事業の区分 (該当するものに○印) | 研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業) |
| 事業名 | 日本政治学会研究大会での報告 |
| 事業実施期間 | 平成 30 年 10 月 ～ 平成 年 月 |
| 成果の概要 | <p>平成 30 年 10 月 14 日に関西大学千里山キャンパスで開催された日本政治学会 2018 年度研究大会に参加し、分科会「核・原子力をめぐる日本外交の黎明——日本・アメリカ・アジア」にて研究報告を行なった。論題は「国際原子力協力と核兵器製造能力——1950 年代・60 年代の日本の再処理技術開発」とした。そのために事前にペーパーを作成し、学会に提出した（ペーパーは学会員であれば学会のウェブサイトからダウンロード可能な状態にされた）。</p> <p>分科会では申請者を含めて 3 名が報告を行ない、討論者及びフロアから有意義なコメントや質問を得た。この報告は科学研究費の助成対象の研究課題の成果の一部であり、学術振興基金の助成はその公表に役立った。報告に対するコメントを踏まえて修正したペーパーを出版するための準備を進めている。</p> |